

High ♥ Line Wakabayashi
はいらいん若林

みんなでここさ

いらいん!

若林区まちづくり協議会会報

2004.2.15

Vol. **7**



国指定天然記念物

文化財名 朝鮮ウメ(ちょうせんうめ)

英名 Plum Trees from Korea 樹種 ウメ(バラ科)
 指定年月日 昭和17(1942)年9月19日 幹周1.3m 樹高約8.0m 枝張 東西約17m、南北約22m
 所在地 若林区古城2丁目 推定樹齢 360年

(「仙台市の指定・登録文化財」より)

政宗公と若林の深い縁

臥龍梅

春の便りが待ち遠しいこの時期ですが、みなさんは若林区内に国指定天然記念物である朝鮮ウメの名木があるのをご存知ですか？
 この朝鮮ウメは、ウメの一変種の臥龍梅*注で、伊達政宗(だてまさむね)

が、文禄二年(1593)に朝鮮から持ち帰り、仙台城に植えた後、晩年の居城である若林(わかばやし)城内に移植したと伝えられています。現在の朝鮮ウメは、政宗が持ち帰ったものを接木した二代目とも言われています。

臥龍梅としては稀有な品種で、国内最大級の大きさで、かつて中央部にあった樹高9m、幹周1.52mの主木は、昭和五十一年(1976)の台風で倒れ枯れてしまったものの、三株に分かれていた樹幹がその後良好な樹勢を保ち、現在も春には香り高い白一重の大輪の花を咲かせるそうです。

このウメ、実は若林城跡に建てられた宮城刑務所の敷地内にあることから一般公開はされていませんが、若林と政宗の深い縁を感じさせる名木として大切にしていきたいものです。

ちなみに、松島の瑞巖寺にも同じく政宗が文禄期に持ち帰ったとされる朝鮮ウメが慶長十四年(1609)の瑞巖寺造営上棟式の際に植樹されており、現在も瑞巖寺の境内で美しい花を楽しむことができます。

【*注】

臥龍梅(がりゅうばい)またはがりようばい)梅の一。幹が低く枝が地上をはった所に根を生じ、竜の伏す姿を思わせるもの。(三省堂「大辞林」より)

※宮城刑務所内の臥龍梅は、一般公開はされておりませんのでご了承ください。

会報の愛称

「はいらいん若林」とは

仙台弁の「いらいん(お入りください)」に英語のhigh(ハイ・高い)とline(ライン・路線、進路などの意)とをかさねあわせた造語です。温かさより高いレベルをめざそうという気持ちが込められています。

防災について

地域の中での活動

防災に関するアンケート調査 沖野中学校PTA

沖野中学校PTAでは、保護者を対象に「地震災害に対する備え」「安否の確認と連絡方法」など、防災に関するアンケートを実施しました。

その中で、災害に対する備えについて「避難場所、避難経路の確認」「お互いの連絡方法の確認」「家具の転倒防止」など、日頃からの備えを行っている家庭もあったものの「ほとんど話し合ったことがない」という回答も3割の方からあったそうです。

アンケート結果を受け、今後の取り組みとして町内会と連携しての啓発活動や危険箇所の点検、マップ作りなどの活動を計画しています。そして「これらの活動を通して家庭での話し合いが増えれば、防災意識も高まっていくのでは…」とのことでした。
(取材：師岡・菅井)

家族で話してますか？

大きな地震が宮城県北部で発生したり、身近にも地震が多かった去年。近い将来、宮城県沖でまた大きな地震が起こる可能性が高いといわれている中、防災に対する関心が高まっています。災害への対策はいろいろありますが、実は個人や各家庭レベルでの身近な備えがとても重要だといわれています。

今回は地域の中で行われている防災に関する活動や、ミニ知識などを紹介します。みなさんもこれを機会に、防災について、ご家庭で話し合ってみませんか？

個人でできる 防災の備え

災害用伝言ダイヤル「171」 ～かけ方・きき方 ご存知ですか？～



近年の災害時によく言われるのが、携帯も含めた電話での連絡が難しくなるということ。その中で安定した利用ができるのがこの「災害用伝言ダイヤル」です。このサービスは平常時は録音等はできませんが、ガイダンス音声聞きながら途中まで操作することができます。

地域の防災訓練紹介 南小泉北部連合町内会

各地区の町内会でもそれぞれ防災訓練が行われていますが、その中で、去る10月16日に行われた、南小泉北部連合町内会の夜間防災訓練についてご紹介します。訓練に参加した南小泉中学校1年の斎野広祥くんが訓練体験をレポートしてくれました。

こんな訓練をしました



① 初期消火訓練 (消火器の使い方)

すくなくるので火の根もとを狙ってね!

訓練用の消火器は水たたったよ本物は粉が出るんだって



② 通報訓練

通報する時は落ち着いてから



実際災害があったときのために、通報の時に言うこと(住所や電話番号、主な建物からどれくらいかなど)を紙に書いて、電話の近くに貼っておくといい。主な建物からどれくらいか言う時「左右」ではなく「東西南北」で言う。

③ 濃煙体験

(煙をたいたテントの中を歩いてみる)



前が見えなくてビックリ!! けむりって怖い!!
火事になった場合、火よりも煙の方が大変危険です。なぜなら煙は見えないからです。ハンカチやタオルを口にあててしゃがみながら壁や床をつたっていきます。

④ 倒壊家屋救出訓練

声をかけて勇気づけるようにする。身近にあるもの、ジャッキやバル、丸丸などを使って助ける。砂地の場合、かたい板を置く。助けるときも自分の安全を確認するようにすることが大切だそうです

だいじょうぶか今、助けるぞ!



⑤ 応急救護訓練

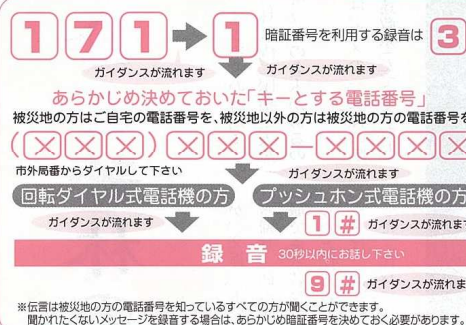
(三角巾を使った応急処置を見学しました)



感想

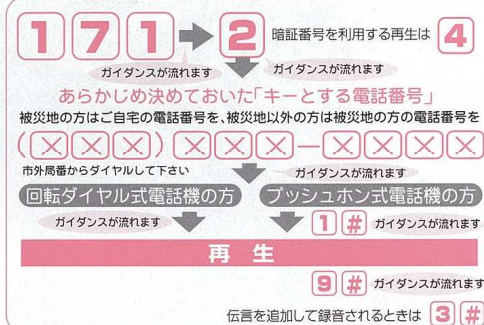
防災訓練に参加し、なかなかできない体験をしてとてもためになりました。火事の時の煙はすごく怖いなど改めて思いました。災害はいつ起こるので、身の安全のためにも訓練は大切だと思います。とても災害が身近に感じられ、何かあった時、訓練を生かせるようにしたいです。

災害用伝言ダイヤル 伝言の録音方法



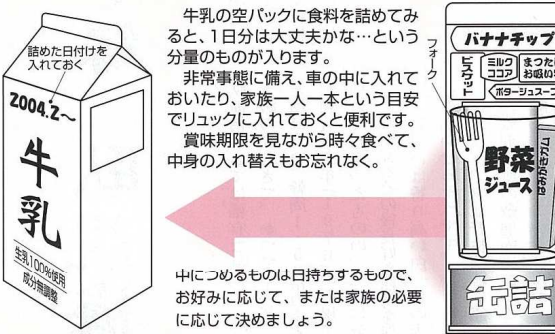
※伝言は被災地の方の電話番号を知っているすべての方が聞くことができます。聞かれないメッセージを録音する場合は、あらかじめ電話番号を決めておく必要があります。

災害用伝言ダイヤル 伝言の再生方法



伝言を追加して録音されるときは 3#

牛乳パックの24時間サバイバルキット (ミニアイデア)



牛乳の空パックに食料を詰めてみると、1日分は大丈夫かな...という分量のものが入ります。非常事態に備え、車の中に入れておいたり、家族一人一本という目安でリュックに入れておくとう便利です。賞味期限を見ながら時々食べて、中身の入れ替えもお忘れなく。

中に詰めるものは日持ちするもので、お好みに応じて、または家族の必要に応じて決めましょう。

- (中に詰めるもの一例)
 - ◇うずら卵の缶詰 ◇野菜ジュース ◇ビスケット
 - ◇バナナチップ ◇ポタージュース ◇ミルクココア
 - ◇松たけのお吸い物 ◇歯みがきガム ◇紙コップ
 - ◇フォーク(プラスチック製)

子どもと一緒に防災について 学ぶなら...こんな紙芝居あります



図書館には、防災に関するいろんな紙芝居があるのをご存知ですか?仙台市内の図書館にも10種類以上の地震、防災に関する紙芝居の蔵書があります。子どもと一緒に防災について話し合うきっかけの一つに使ってみてはいかがでしょうか。そして、意外と大人も「へー」と納得する防災の知識が学べるかも。

作品紹介
「こわかったおかいもの ~しんじだ!そのときどうする?~」(宗方あゆむ 作・藤本四郎 画 / 教育画劇 出版)
外出先(デパート)での地震にあったときの対応方法がわかりやすく紹介されています。



街を飾った手書きの旗



街のあちこちが展覧会場

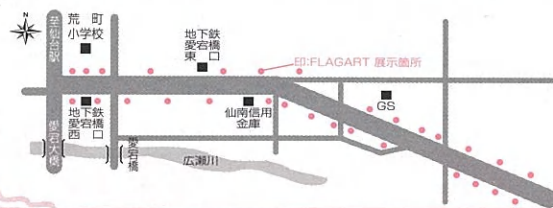
地域のイベント仕掛人紹介

ART LINK PROJECT 庄子陽さん



土樋にある商店街、愛宕商栄会を舞台に、地域の方々と街のアーティスト達が一緒になって街を彩るイベント「土樋アートウォーク」が昨年八月から十月にかけて開催されました。この催しの仕掛人、庄子陽さんをご紹介します。

「こんにちは」「あ、どうもこんにちは」
私は今、土樋の街を歩くと、すれ違う人々と挨拶を交わすので忙しい毎日になっています。約三年前、愛宕商栄会さんから「街や、街を行き交う人々に元気が出る旗をつくりたい、協力して」と依頼があったのをキッカケに、地域の商店や街を舞台にアートイベント「土樋アートウォーク」を行うようになりまし。二回目になる今回も約三ヶ月間にわたり、地元の子供たち、住民の方々、私の仲間のアーティスト達の作品を店舗等に飾り、遊びに来られた方々に街を回遊し、楽しんでもらいました。



(庄子陽)

平成15年10月1日からスタートした

家庭用パソコンのリサイクルってご存知ですか？



最近パソコンをお持ちのご家庭も増えていますが、パソコンがこわれたとき、買いかえたときに古いパソコンはどうしますか？ある主婦たちの井戸端会議にて…。

A美「うちのパソコン、お父さんが買い替えたいって言うんだけど、古いほうの処分にも困りそうなのよね。今はパソコンも粗大ごみでは出せないらしいってきいたけど、どうしたらいいのかしら？」

B恵「この間、うちでもパソコンがこわれて買い換えただけで、去年の10月から、メーカーでパソコンのリサイクルをする制度が始まったんですって。それで捨てるパソコンは、家電リサイクルみたいに販売店に頼むんじゃなくて、メーカーに連絡して、お金を払って処理してもらったわよ。メーカーから送られてくる、ゆうパックの決

まった伝票で送るんだけど、頼めば郵便局で引き取りに来てくれるから、そんなに大変じゃなかったわ。」

C江「うちは先月初めてパソコンを買ったけど、去年の10月以降に発売したパソコンは『PCリサイクルマーク』っていうのがついていて、パソコンを買うときの値段にリサイクル料金も含まれているから、そのパソコンを捨てたい時は、メーカーが無料で引き取ってくれるらしいの。今は本当にリサイクルが基本の時代なのねえ。」

B恵「何にしても、ただゴミになるより、何かの形でちゃんとリサイクルできるのはいいよね。」

*平成15年10月1日から、メーカーによる家庭用パソコンのリサイクルがスタートしました。仙台市ではパソコンのリサイクルを推進するため、粗大ごみとしての収集はせず、消費者が回収・再資源化料金を支払ってメーカーなどに引き渡すことになります。

パソコンのリサイクルについてのお問い合わせは 仙台市環境局廃棄物管理課 (022) 214-8227 まで
または下記のホームページにも詳しい内容がのっています。
仙台市環境局ホームページ: <http://www.city.sendai.jp/kankyou/haikibutsu/pasokon.html>
(社)電子情報技術産業協会ホームページ: <http://www.pc3r.jp/>

若林区まちづくり協議会

事務局
若林区役所まちづくり推進課
〒984-8601 若林区保春院前丁3-1
TEL282-1111

会報プロジェクトメンバー

リーダー 勝又 久雄 / 斎野 明子
西條 芳郎 / 師岡 優子
菅井 てるみ / 中村 武広

編集後記 今回の特集は「防災について」です。近い将来、大地震が起こると予測されていることもあり、編集委員の関心はとても高く、紙面にのせきれない情報がたくさんありました。災害から身を守るためには、日頃からの家庭内での話し合いと地域とのつながりの大切さを強く感じました。(M)